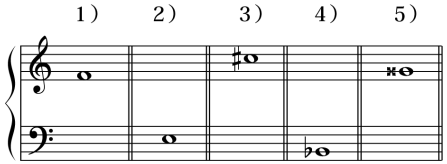
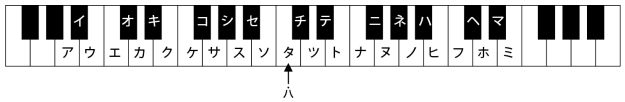
音楽Ⅰレポート	楽典（３）	教科書『高校生の音楽１』	P.66 コード・ネーム P.68 コード表 P.154 楽典
提出日　　月　　日	氏名	得点	評価

① 次の音符について、音名（日本語）を１点、２点などの区別を付けて書き、鍵盤上での位置をア～ミから選ぼう。

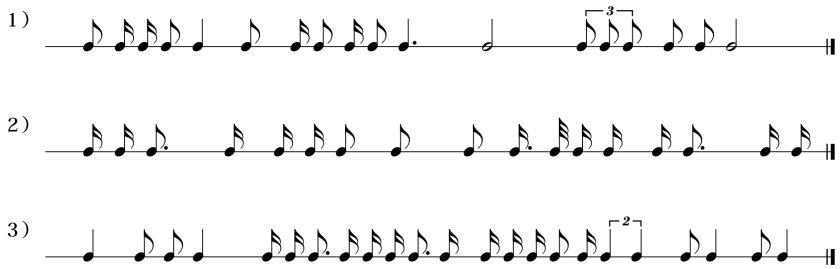
（各１点＝10点）





	音名	鍵盤の位置
1）		
2）		
3）		
4）		
5）		

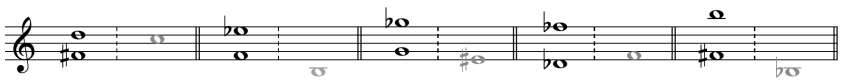
② 次の楽譜が４小節になるように、正しい拍子記号と縦線を書き入れよう。（各２点＝６点）



③ 例を参考に、示された音程になるよう上下の音を右側に書き入れよう。（各１点＝12点）

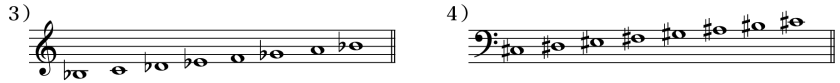
例:増４度　　長２度　　短６度　　完全８度　　減７度　　減５度　　増２度

④ 左側の２音と同じ音程になるように、示された各音の上に音を書き入れよう。（各２点＝10点）



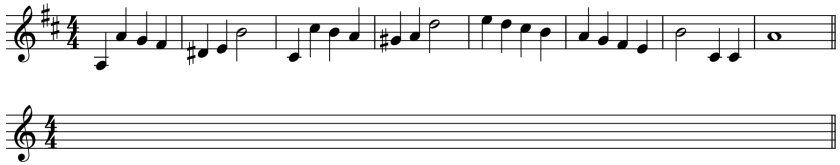
⑤ 次に示された音を含む音階の調性（日本語）と種類（長音階、和声的短音階のいずれか）を書こう。（各１点＝８点）

（調性:　　種類:　　）　　（調性:　　種類:　　）

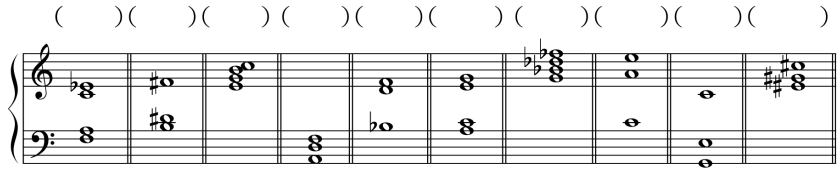


（調性:　　種類:　　）　　（調性:　　種類:　　）

⑥ 次の旋律を短３度上げて、ト音譜表に調号を用いずに書こう。（10点）

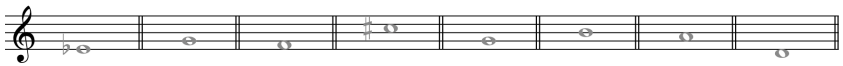


⑦ 次に示された和音のコード・ネームを書こう（オン・コードは使用しない）。（各２点＝20点）



⑧ 示されている音をルート（根音）にして、コード・ネームの構成音を書こう。（各２点＝16点）

E♭　　G7　　FM7　　C♯m　　Gm7　　Bdim7　　Asus4　　Daug



⑨ 次の文に当てはまる用語や記号をそれぞれ書き入れよう。（各１点＝８点）

ア　長音階の主音と第２音の音と音の間隔は（　　）、第７音と主音の音と音との間隔は半音である。

イ　属音は、主音の（　　）度上の音である。

ウ　イ短調の和声的短音階の第７音は、日本語の音名で（　　）である。

エ　全ての長調、短調のⅤ度の和音は長三和音、Ⅶ度の和音は、（　　）和音である。

オ　全ての短調のⅡ度の和音は減三和音、Ⅲ度の和音は（　　）和音である。

カ　音楽用語「espressivo」は、「（　　）」という意味である。

キ　「だんだん遅く」という意味の音楽用語は「（　　）」である。

ク　強弱記号「（　　）」は、「強く直ちに弱く」することを示す。